

福岡女子大学
同窓会

第87号



筑紫海会会報

事務局 福岡女子大学内 TEL・FAX (092)692-3194 4月1日から変わりました。



昭和8年アルバム 図書室にて

新生面を開く

筑紫海会会長 矢野 芙美子(大10回)

今、原稿を書きつつ、何人の方が読んでくださるかという不安と共に、大学4年間を同じ学舎で学んだのみで、その後はそれぞれの道をそれぞれの思いで歩まれた方々を一緒に束ねる事は難しいと受け止める気持ちも強くあります。



しかし、何と言っても同窓会は宝の山です。「眺めてください。参加して下さい。感じてください。」と改めて申し上げたいと存じます。きつといままでお感じにならなかった豊かさとの出遭いがあるはずですよ。ある支部総会で初めて参加した若い方が「同窓会の方々とこの交わりがこんなに楽しく意義深いものとは思わなかった。」と述べられ印象的でした。

平成26年度 総会報告

5月25日(日)ヒルトン福岡シーホークにて同窓生164名の出席のもと総会が開かれた。

開会の言葉、出席者全員による物故者への黙禱に続き、矢野会長より、「閉じる」という難事業をやり遂げた法人の働きに感謝し、また先輩方の高い精神性を引き継ぎ伝えていきたいという挨拶があった。

議事

- (1)平成25年度事業報告
- ・開学記念式典&ホームカミングデーで多くの同窓生が、新校舎の落成を祝った。
- (2)平成26年度役員紹介
- ・特別講演会「志賀海神社へバスツアー」(9月)
- ・ベニシアさん講演(来年3月)を予定。
- ・国際交流事業(留学生関連)等。

には神秘的な愛と厳粛があったはずと思わされます。

どうか皆さま、我々の人生の出発点、核をなしている部分をいま一度見つめ直し、気持ちを差し出してくださいます。

新しい校舎の中のカフェラウンジ。美しい絵画が飾られ文化的香りがします。英語の飛び交うテーブルがあちこち、今の福岡女子大学の姿です。より多くの可能性を身に付けつつある後輩たち、未来の活躍を想像、確信し、眺めています。

女性の特徴を培う事なく、社会に進出しリーダーとなつて欲しい。それはかつての男性社会に入つて行くことではなく、男女を問わず共生できる新生面を開くこともかもしれません。

女性を生き延びてきた我々同窓生にとつても、これからの新しい時代の姿を考えてみる事は大切な事ではないでしょうか。

(5)平成26年度予算案審議

- ・在学生への同窓会賞の設立、90周年記念事業関連として、新規に事業企画費を計上。
- (4)(5)拍手で承認。
- (6)会則改正
- ・沿革を附則に掲載移動。
- ・第3章第15条(2)「本部役員理事の人数15名以上、20名以内」に変更。
- ・第5章第33条「総会は原則として毎年5月の最終日曜日(に開く)」に変更。
- ・第9章第56条と附記削除。拍手にて承認。
- 閉会のことばで総会終了。



女専の方々へ花束

筑前琵琶演奏

イベント

米村旭翔氏による筑前琵琶演奏。興味を引く解説のあと「平家物語」の那須與市の件を、張りのあるお声で弾き語りされ、最後には黒田節を皆で唄い、会場が一体となった。

懇親会

学長代理として渡辺浩志副理事長挨拶、支部長紹介、女専5名の方への花束贈呈、乾杯、会食。

校歌斉唱の後、来年度当番学年を紹介し閉会。

筑紫海会 平成25年度決算報告及び26年度予算

		決算(円)	予算(円)
収入の部	金費	5,160,000	5,400,000
	会費	3,682,500	3,750,000
	入会金	2,143	1,000
	次取付	190,000	0
	退職給付金	65,500	0
支出の部	職員給与	7,879,707	7,879,707
	雑収	14,936,810	14,936,810
	雑支	31,916,660	31,916,660
	収入合計	31,916,660	31,916,660
	支出合計	31,916,660	31,916,660
収入の部	人件費	2,542,558	2,300,000
	給交	2,061,240	2,000,000
	福引	211,240	200,000
	退職金	60,000	80,000
	事務用品	190,000	0
支出の部	通利給付	20,078	20,000
	職務消耗品	2,027,525	1,990,000
	事務用品	348,807	620,000
	備保名簿	111,603	180,000
	会費	316,050	200,000
収入の部	会費	5,380	120,000
	議事費	890,000	270,000
	交通費	355,685	600,000
	活動費	1,468,938	1,870,000
	専支	189,129	320,000
支出の部	専支	470,749	650,000
	専支	809,060	900,000
	専支	6,810,663	5,000,000
	専支	639,884	900,000
	専支	3,991,000	1,000,000
収入の部	専支	2,179,779	2,600,000
	専支	0	500,000
	専支	210,000	200,000
	専支	121,455	200,000
	専支	647,400	0
支出の部	専支	150,000	50,000
	専支	0	650,000
	専支	7,879,707	0
	専支	4,000,000	0
	専支	25,858,246	200,000
収入の部	専支	6,058,414	2,749,414
	専支	31,916,660	31,916,660
	専支	31,916,660	31,916,660
	専支	31,916,660	31,916,660
	専支	31,916,660	31,916,660

総会当番を終えて

当番委員長 足立 由美(大25回)

風薫る5月、164名のお元氣なでしこの皆様方が、嬉々として総会会場に集まりました。

当番幹事の私達は総会の前後に各クラス会を開き、打ち合わせや反省会を行い近況報告にも楽しい花が咲きました。卒業以来三十数年ぶりの母校訪問となった人も少なくありませんでした。

平成27年度 筑紫海会総会のご案内

日程：平成27年5月24日(日) 5月第4週日曜日です。
会場：西鉄グランドホテル (福岡市中央区大名2-6-60)
H26年度とは変更になっています。
当番学年 (大27・28・47・48・61回生)

詳細は来年HPおよび5月初めの会報にてご案内いたします。会員の皆様是非ご出席下さい。

波紋



▼九大工芸部の研究室の教務員の職を3年間勤め、研究室の学会の準備など、研究の最先端のお手伝いがある喜びを感じた覚えがあります。結婚して二人の娘を育て上げて家庭人となり35年になった頃でした。恩師であり、御仲人として頂き、お世話になった九大名誉教授の先生が近畿の住民になられたのです。時おり各美術館へお伴させてもらったりしました。▼ある時、癌治療で通院されていたのですが、放射線治療のため入院されました。その折、神戸のチヨコレイトを持つてお見舞いに行き、「チヨコレイトはポリフェノールがたっぷりて癌にも効くそうですよ。」と言葉をそえたのです。▼その夜、先生から戒めの電話をいただきました。「どこの学会の論文でチヨコが癌に効くと載っていたのだ。」「みのもんたのテレビ番組で言っていた。」と私。「ポリフェノールとはポリは多くの、フェノールは亀の甲のフェノール基のこと、女子大の白川先生の有機化学でも習っただろう?言葉だけが先歩きして物の本質を見ていない。最高学歴を持つ君がテレビをまるまる信じて人に発するものではない!」▼テレビにすっかり丸めこまれている私は先生からカツを入れたのでした。

大木 幸子(大14回) 近畿支部

2014年7月15日付 西日本新聞より転載

オリジナルのカルタや劇を通して食の大切さを子どもたちに伝える活動に取り組んできた福岡女子大(福岡市東区)のボランティアサークル「食育ボランティア学生ネットワーク」(通称・しょくぼねっと)が、内閣府の「食育推進ボランティア表彰」を受けた。若い世代を対象に優れた食育活動を表彰する制度で、本年度は全国で11団体・個人が受賞した。県内からは同大のみだった。

福岡女子大の「しょくぼねっと」訪問授業 劇や紙芝居も

「しょくぼねっと」は2003年、同大の旧栄養健康科学科の学生たちが「学んだ知識を生かしたい」と教官に相談して発足した。食育ボランティアに取り組み学生団体は珍しく、農水省の04年度の「食料・農業・農村政策」でも紹介されている。現在は食・健康学科の全学生と学科出身の大学院生が参加。保育園や幼稚園、小学校からの依頼を受けて訪問授業を展開している。



福津市の真愛保育園で食育カルタを使って園児と交流する「しょくぼねっと」の学生たち

作したユニークな教材が「食育カルタ」。取り札にはかわいい絵を描き、読み札も「ルビーみたい輝く莓」「あまおう」だ。「もりだくさん 愛も野菜も入ったがめ煮」などと郷土料理や農産物を楽しく学べる内容にした。食育劇やクイズ、紙芝居も組み合わせて、子どもの興味を引きつける工夫を凝らしている。

顧問の早瀬仁美教授(実践栄養学)は「学生が専門知識を地域のために役立てる意義は大きい」と指摘。副代表の4年坂本佳織さん(21)は「子どもたちがきらいたな物を『頑張って食べてみよう』と前向きになるのがうれしい」。代表の4年清水優子さん(21)は「受賞を機に活動の幅を広げ、後輩に引き継いでいきたい」と意欲を見せた。(宮上良二)

カルタで食育内閣府表彰

なでしこ基金についてご報告

福岡女子大学副理事長 渡辺 浩志

平成25年4月16日に学校法人筑紫海学園から寄付を頂きました「なでしこ基金」は留学生の支援等で25年度は237万円を支出いたしました。

なでしこ基金に関しては大学の飛躍・発展・変革のための基金とし、新たに立ち上げる事業に期限付きで使用させて頂きます。当面は、国際化の促進と大型外部資金獲得を目指して、左記3つのテーマに500万円/年を計画しています。

特別優秀な留学生支援 100万円/年
女性研究者・事務職員海外派遣 (2名/年、26〜28年度)
文理融合型研究促進 (27〜31年度) 200万円/年
200万円/年
200万円/年
尚、 に関しては大学の財源から同額を支出。

福岡女子大学共催

ベニシアさん講演会 案内

ハーブ研究家で、NHKの「猫のしっぽ、カエルの手」でご存の方も多い、ベニシア・スタンリー・スミスさんの講演会を来春開催します。京都大原在住のベニシアさんは、自然と調和した暮らしを訴え、多くの人の共感と呼んでいます。開催要領は以下の通りです。



開催日：平成27年3月14日(土)

会 場：福岡女子大学 大学会館

定 員：450名(予定)

申込受付開始：平成27年1月下旬予定

今後の案内方法 筑紫海会HP ご希望の方にはチラシが出来次第お送りしますので、下記問合せ先までご連絡ください。

問合せ先：福岡女子大学地域連携センター TEL092 - 661 - 2728(直通)

Mail : rcle@fwu.ac.jp

平成26年度 福岡女子大学公開講座のご案内

*ヨーロッパの文化と歴史

時間：13：30～15：00 受講料：1,000円(全4回分) ※高校生・本学学生無料

回	日程	テーマ	講 師
1	11/8(土)	イギリスと言語	村 長 祥 子 (福岡女子大学准教授)
2	12/13(土)	『大いなる遺産』の遺産	宮 川 美佐子 (福岡女子大学准教授)
3	1/10(土)	第1次世界大戦(1914 - 1918)とは何だったのか?	馬 場 優 (福岡女子大学准教授)
4	2/14(土)	どうして研究が楽しいのか - フランス・ジャンセニスムの場合 -	御 園 敬 介 (福岡女子大学准教授)

*郭沫若の日本亡命

日 時：10月23日(木) 13：00～14：30

受講料：無料

講 師：武 継平(福岡女子大学教授)

*ジェンダーとエスニシティで見るアメリカ文学の女性たち

日 時：11月22日(土) 13：30～15：00

受講料：無料

講 師：徳永 紀美子(福岡女子大学教授)

《受講方法》

■FAX、E-mail、往復葉書のいずれかに、①受講希望講座名、②氏名(ふりがな)、③住所、④電話番号、⑤年齢、⑥FAX番号(FAX申込の方のみ)をご記入の上、お申し込みください。お電話でも受け付けています。受講票等の発送はいたしません。

■E-mailで公開講座や講演会の情報を随時発信しています。ご希望の方はお申し込みの際に、その旨をご記入ください。

■託児サービスを始めます(業者委託)。利用を希望される方は、講座開講日の10日前(土日祝日除)までに、直接委託先へお電話ください。先着5名までです。

〈委託先〉㈱テノ・コーポレーション

〒812-0036 福岡市博多区上呉服町10-10

☎0120-8000-29(受付時間：平日9時～19時)

■学内には駐車場がございません。恐れ入りますが、公共交通機関のご利用をお願いいたします。

ご提供いただいた個人情報は、公開講座等の実施・運営、本センターからのご案内等に使用させていただきます。他の目的には使用いたしません。

お問合せ先 福岡女子大学 地域連携センター

〒813-8529 福岡市東区香住ヶ丘1-1-1

TEL：092 - 661 - 2728(直通) 092 - 661 - 2411(代表)

FAX：092 - 692 - 3220(番号が変わりました)

E-mail : rcle@fwu.ac.jp URL : http://www.fwu.ac.jp/collaboration/

目加田文庫の 記念講演のお知らせ

平成28年に開設される「目加田文庫」に先駆けて源氏物語の講演会が開催されます。卒業生の皆様のお越しをぜひお待ちしております。入場無料

日時：11月11日(火) 14：00～

会場：大野城市まどかぴあ 多目的ホール

題目：『光源氏をめぐる女性たち』

講師 福岡女子大学客員教授
工藤重矩 氏

申込方法：

電話またはFAXでお申込み下さい。

TEL 092 - 580 - 1992

FAX 092 - 573 - 7791

公立大学法人福岡女子大学 女性研究者支援室の事業から 同窓会会員の皆様にお願ひ

平成25年11月に設置された女性研究者支援室では、教育・研究・大学運営を牽引する女性研究者の育成と、女性研究者の裾野拡大(次代の女性研究者の育成)に取り組んでいます。今年度は、のためにロールモデル集を作成します。これは、本学の卒業生で研究者になっている人の経歴を紹介することによって、学生に大学院進学を促すものです。現在、6名の卒業生に依頼しました。

【連絡先】
女性研究者支援室
092-692-3104
(直通)
frsupport@fwu.ac.jp

ませんが、お心当たりがある方は、女性研究者支援室にご連絡いただければ幸いです。



【2014支部総会報告】今年度は13支部すべて支部総会が開催されます。

長崎(5.11) 島原半島ジオパーク	筑豊(8.24) 梓屋
東京(5.13) 明治記念館	山口(9.7) ANAクラウンプラザホテル
近畿(6.1) がんこ高瀬川二条苑	東京支部 秋の親睦会
宮崎(6.8) シェラトン・グランデ・オーシャンリゾート	10月21日(火) サンス・エ・サヴール(丸の内ビルディング35F)
佐賀(6.14) 旅館「あけぼの」	熊本支部 支部総会
大分(6.15) 龜山亭	10月26日(日) 万田坑見学 三井倶楽部(昼食・総会)
北九州(6.22) 小倉リーセントホテル	宮崎兄弟資料館見学
久留米・筑後(6.28) ハイネスホテル	熊本支部以外の会員も参加OKです。
広島(6.28) 西鳳オンブラージュ	お問い合わせください。(担当)魚住 090-3416-4175
鹿児島(7.6) 寿庵	



恒吉先生、矢野会長を囲んで

去る6月8日(日) 宮崎支部総会をシェラトン・グランデ・オーシャンリゾートで開催しました。会員132名中、20名が集い、本部より

宮崎支部長 松本 君江(大18被)

年齢差62歳!!の支部総会



(専23家)藤元靖子さん(右)

り矢野英美子会長をお迎えして、会員一同、母校の発展の様子を嬉しく拝聴いたしました。

支部総会は2年に一度の開催で、合せて懇親会も行っています。懇親会には女子大をご退官後郷里宮崎に戻られた、ドイツ語の恒吉良隆先生もご出席いただいて



筑紫海会大分支部は、発足して半世紀を迎えようとしています。当時事務局長を務められた宮崎次子(専20文)さんはそれ以来ずっと支部をリードしてこれ

大分支部長 森 明子(大9国)

50年を迎える大分支部だより

現在に至っているのです。発足当初から、会則を定めて規約・運営・名簿作成・集会等が行われました。また地域を4つに分けて交流や役員選出が円滑にいくようにし、隔年毎に定期総会を行っています。

さて、今年度の支部総会は6月15日(日)に日田市の龜山亭で行われました。開催にあたっての最大課題はテーマと講師の選定です。半年程前に大分市の豊田道子(大20国)さんより馬場明子(大20国)さんを推薦されました。さっそく4月の開学記念日にお逢いしてご了解をいただきました。

庭でも社会でも、国の内外においても、その活動や実績が正しく評価されてきています。



(専20文)宮崎次子さん



(大60国)藤野恵理佳さん

今年度は中国料理。唯一女子(専23家)さんの乾杯の音頭で始まりました。ちよつと狭い店内でしたが皆様和気あいあいと楽しく有意義にお過ごしのご様子でした。一番若い会員は昨年卒業なさったばかりの藤野恵理佳(大60国)さん。何とお二人の年齢差62歳!!

Guten Tag!

恒吉良隆

福岡女子大学名誉教授
(1967~2004年在職)

定年退職したあと、郷里の宮崎へ転居してちょうど10年になります。その間当地の支部総会の懇親会には、特別会員として毎回出席させていただき、風雅な一時を共にしています。

近況報告を以下に記します。——永年続けてきたニーチェ研究、独和辞典(改訂)作業を継続しつつ、趣味の観世流謡曲やミニテニス、庭仕事などに精を出しています。また、社会活動の一環として、ドイツ語市民講座の講師、県立図書館協議会委員、宮崎大学医学部治験審査委員会委員などを務めています。

末筆ながら、卒業生の皆様のご健勝、そしてご活躍を心からお祈りします。

3号となります。この会報誌が会員相互の絆をより一層強める効果を発揮して、総会に一人でも多くの方がご出席いただきますようお願いいたします。

そして、いつも若い方々に参加を呼びかけてくださる恒吉良隆先生のご活躍をお祈り申し上げます。

恒吉先生からの近況報告を添えます。



「蜂の木」講演

当日は本部より常任理事の迫田やよい(大20国)さんにご出席いただき、旧知のひととの再会を喜びあうのがやかな雰囲気の中、会議が順調におこなわれ、議決・承認されました。

講演は馬場明子さんの「蜂の心——蜂の木」をめぐってです。放送されたドキュメント作品の上映を交えて、優しくよく透る語り口で、根底には情熱と信念をもち、悲惨な事実を徐々に描き出していきました。

今こそさらに一歩を踏み出す勇氣と希望を与えていただきました。今回の支部総会の感動を皆様とともに喜び合い感謝いたしまして、大分支部だよりとさせていただきます。

「蜂の木」馬場明子著 未知谷

在学生からのお誘い!

環境科学科3年 安藤 優

こんにちは! バドミントン部です。現在部員が名簿上は60人で実際練習に来る人は10人足らず(笑)。教職員の方々とも一緒に練習しています。というよりほぼ先生メインの部活になっています。毎年出場のインカレでは昨年3位になりました。

今年は残念ながら初戦敗退。そして!そして!本年度、新しい体育館が完成。とんでもきれいでコートが6面も張ることができます。練習は毎週火・木曜の17時~21時に行っています。ぜひ先輩方も練習にいらしてください。心からお待ちしております!



頃には木造の体育館でクリアを打てば低い天井に当たりラリーが続きます。ですが、すぐに新しい体育館ができ、思いっきりラケットを振ることができました。

恒吉先生からの近況報告を添えます。

高校体育の授業で楽しかったので、迷わずバドミントン部に入り、上級生に素振りや基本の打ち方を一から教えてもらいました。先輩達の輝かしい成績には圧倒されました。

入学(1969年)した頃は木造の体育館でクリアを打てば低い天井に当たりラリーが続きます。ですが、すぐに新しい体育館ができ、思いっきりラケットを振ることができました。

卒業生の思い出

大崎 由紀子(大20理)

同窓会会員にはクラス・寮仲間・ゼミの先輩後輩等様々なつながりがあります。が、サークル仲間もそのひとつです。卒業後も定期的な交流が続くサークルもあると聞き、今回はバドミントン部を紹介します。バドミントン部は大学1年生から脈々と続き、過去に輝かしい実績を誇っています。

日々の練習、夏休みの合宿、また顧問の澄川、国宗先生達との練習試合から、基本も大事だけど試合から学べと教えられました。福大や教育大の練習に参加させてもらったり、インカレ等で九州各地へ遠征しました。成績はともかく楽しい旅でした。



長崎遠征(1972.5)

サークル通信 「バドミントン部」

